

ほっかいどう N I E 通信

Newspaper in Education 教育に新聞を



発行 北海道 N I E 推進協議会

〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 北海道新聞社内

☎011-210-5802 FAX 011-210-5826

菊池教頭(旭川市聖園中)らに委嘱

新アドバイザー5人就任

日本新聞教育文化財団が委嘱する道内の N I E アドバイザーは任期満了に伴い交代し、本年度から新たに5人の実践経験豊富な先生が就任した。2年間 N I E 活動のけん引役として、地区セミナーの講師などでの活躍が期待されている。新アドバイザーの抱負、活動歴などを紹介する。

現職教頭で委嘱された旭川市聖園中・菊池安吉教頭は「N I E の実践の輪を広げていくために尽力したい」と抱負を語る。20年前から新聞を教材に使っており、旭川市内の



菊池 安吉教頭



伊達 峰史教諭



高瀬 敏樹教諭



高瀬 敏樹教諭



森谷 栄介教諭

定されるので、もっと幅広い活用を模索してみたい」と意欲を示す。高校からは、札幌旭丘高・高瀬敏樹教諭が委嘱された。同教諭は N I E 全国大会にたびたび参加する一方、「情報」や「総合学習」の授業で N I E に取り組んでいる。「新聞活用でどのような教育効果があるかを明らかにしたい。短時間で実践可能な事例やワークシート、教材を開発していきたい」と述べる。

をまとめた「啄木新聞」を作らせるなど、意欲的に実践している。「N I E を今後も多くの授業の中に取り入れたい」と抱負を述べる。帯広市啓西小に今春赴任した森谷栄介教諭は、前任2校で N I E に取り組み、全国新聞教育研究大会や十勝新聞教育研究大会で実践活動を行ったり、公開授業を行った。「より新鮮で詳しい情報を得るためのツールとして、今まで以上に新聞記事を有効に活用していきたい」と意欲を語っている。

希望に満ちた新年度

雪解けとともに地球温暖化の慣れで身も心も暖かくなった。4月下旬には北海道は桜一色に染まりそうだが、学校は新一年生の登校の姿が初々しい。先輩や先生方に温かく迎えられる可能性を持った子供たち。早く早く」と詰め込むとストレスが溜まり五月病も心配。八戸市で新4年生が実母に殺害された。皮肉にも昨年応募した児童の詩「おかあさん」が佳作に入選。「お母さん」としてもやわらかい」と母の愛情を表現している。何度か抱きしめてくれた腕、この腕が凶器となった▼文部科学省は「全国学力テスト」に続いて「体力テスト」を実施する。学力テストの体力版である。調査対象の内容は体育の時間に実施しているスポーツテストと同じ。経費を3億円投じるのであれば教員の定数増やスポーツ指導員の増加・養成、部活動への助成の方が優先と疑問を呈している▼洞爺湖サミット、北京オリンピック開催等は絶好の学習材。五大大陸を回る聖火リレーの行方も気になる。今年も実践交流の輪が広がり N I E 活動がますます充実したものにと願っている。(高)

08年度道内実践校 最多の48校が内定

八軒小など奨励校5校

08年度の道内 N I E 実践校が内定し、4月16日に開かれた当協議会加盟の報道各社代表者会議で報告された。7月16日に予定されている日本新聞

去最多だった07年度の44校を4校上回った。財団認定校のうち5校は、08年度に新設された「奨励校」校。実践経験校もしくは校内挙げて熱心に取り組んでいる学校を対象にしている。内定校は次の通り。

川聖園▽高校Ⅱ富川、富良野
◇継続▽小学校Ⅱ札幌市神山、同前田中央、函館神山、深川一巳、美唄峰延、帯広緑丘、豊頃▽中学校Ⅱ札幌定山溪、同もみじ台、北見小泉、江差、本別勇足▽中高Ⅰ貫校Ⅱ北星学園女子、函館白百合学園▽高校Ⅱ札幌市、沼田、静内農、浦河、留辺蘂、滝川西、登別大谷
◇奨励校▽小学校Ⅱ

札幌八軒、同平和▽中学校Ⅱ札幌宮の森、旭川永山▽中高Ⅰ貫校Ⅱ立命館慶祥
◇協議会認定◇新規▽小学校Ⅱ札幌北郷、旭川正和▽中学校Ⅱ札幌厚別▽高校Ⅱ七飯、富良野緑峰、由仁商業
◇継続▽中学校Ⅱ札幌稲積▽高校Ⅱ旭川南定、時制、苦小牧西▽その他▽岩見沢市医師会附属看護高等専修学校、吉田学園医療歯科専門学校

えられ生涯学習の一步が始まった。無限の可能性を持った子供たち。早く早く」と詰め込むとストレスが溜まり五月病も心配。八戸市で新4年生が実母に殺害された。皮肉にも昨年応募した児童の詩「おかあさん」が佳作に入選。「お母さん」としてもやわらかい」と母の愛情を表現している。何度か抱きしめてくれた腕、この腕が凶器となった▼文部科学省は「全国学力テスト」に続いて「体力テスト」を実施する。学力テストの体力版である。調査対象の内容は体育の時間に実施しているスポーツテストと同じ。経費を3億円投じるのであれば教員の定数増やスポーツ指導員の増加・養成、部活動への助成の方が優先と疑問を呈している▼洞爺湖サミット、北京オリンピック開催等は絶好の学習材。五大大陸を回る聖火リレーの行方も気になる。今年も実践交流の輪が広がり N I E 活動がますます充実したものにと願っている。(高)

全国高校 N I E 研究大会

全国高校 N I E 研究会第 6 回研究発表全国大会が 3 月 29、30 の両日、東京の日本プレスセンターで開かれた。「N I E でのぼす学ぶ力」を主題に約 120 人が参加。社説を読み比べる公開授業や研究発表が行われた。道内の新聞を授業に使った報告もあった。

(北海道新聞 N I E 推進センター委員・本間康裕)

社説の意図 読み比べ

4 紙使い公開授業

食の安全テーマの実践例も



4 紙の社説読み比べの公開授業を行う
安佐北中高の種谷教諭

公開授業は国語で、広島市安佐北中学校高校の種谷教諭が都内の高校生 9 人に対して行った。種谷教諭は、筆者がなぜこのような表現をしたのか、どのような意図があるのかを生徒に吟味、評価させる「真の批判的読み」を目指している。授業では、岩国市長選についての 4 紙の社説を読みませ、「説得しようとするテクニックや工夫はどうだろう」と問いかけた。

生徒は「市民の視線に立っている」「数値を多用して具体的だ」など各紙の違いを読み取り、種谷教諭は「新聞は生徒の主体性を取り戻すのに最適だ」と語った。

また記念講演で朝日新聞デジタルメディア本部の脇正太郎本部長補佐が、朝日、日本経済、読売の共通ニュースサイトの裏話を披露。「新聞は販売広告で苦境にあり、打開のために共通サイトを開設した。安い料金で新聞社からニュース提供を受けている主要ポータルサイトへの対抗心がある」と述べた。

研究発表では、全国から参加した 13 人の教諭が実践例を発表した。環境問題の理解に新聞を使う例が多かったが、食の安全を授業で展開した報告もあった。

三重県のセントヨゼフ女子学園高校の北川保非常勤講師は現代社会で、昨年 11 月の北海道新聞の「白い恋人 賞味期限改ざん問題」の記事と NHK「赤福偽装」のビデオを使って感想を書かせ、生徒から「販売再開後のブームはまるで出来レースのよう」との意見を引き出した。

「すべての教室へ新聞を」

(朝日、毎日、読売、日経、北海道)、当協議会の「3 者協議」で話し合い、合意した。

全国の新聞販売店で組織している社団法人日本新聞販売協会が提唱し、道内では札幌市内に限定して 04 年度から実施している「すべての教室へ新聞を」運動の 08 年度対象校が決まった。

3 月 11 日に開催された同協会北海道本部、新聞 5 社

08 年度道内実施校
新規 2 校 継続 8 校

「事業」と位置付け、新学期から新聞を提供している。

実施校は次の通り。

◇新規 道教育大附属札幌小、同札幌中

◇継続 札幌東小、幌西小、百合が原小、山の手南小、山鼻中、向陵中、札幌旭丘高、札幌龍谷学園高

N I E 実践奮闘記

釧路市愛国小教諭

高桑 一夫



「新聞社」学び書く力磨く

子どもたちが楽しく生き生きと学校生活を送るためには、一人一人の個性を生かした学級づくりが必要である。そのためには、子どもたちが自分の考えや思いや願いを相手に伝える力を身につけなくては

過程を理解し、新聞づくりへの興味を高めることが欠かせない。しかし、5 年の社会科「くらしを支える情報」の単元では、「新聞社」を学習する流れにはなっていない。

釧路地方の小学校では、教育出版社の教科書を使っているが、この中では『テレビ局』を扱っている。調べてみると、東京書籍、光村図書両出版社も『テレビ局』であった。

釧路では、NHK放送局の見学はできるが、人数などの制約が多く、体験学習としては不十分である。しかし、新しくできた北海道新聞社の工場など『新聞社』の見学では、新聞づくりの流れを詳しく見ることができ、実際に記事を書き、レイアウトする作業

ならない。

しかし、いざ発表の場になると、特定の子どもの発表にのみ終始してしまい、みんなの気持ちを揺さぶるような、ピカリと光る考えや意見を持つていてもなかなか言えずにいる子どもが多いのが現状だ。

教科の中や、道徳・総合的な学習の時間などでは、「書く」活動を通して、自分の意見を発信することが必要である。その際新聞は、子どもたちにとって「身近なお手本」になる。記事の書き方を参考にしながら「書く」活動を充実させることができ、記事の内容から生きた社会の動きや知識を学ぶようになる。そのためには、新聞制作の

などにも見ることで、新聞に対する興味が高まり、「読む」「書く」力を向上させるきっかけになる。

このため、実態に即した指導事例が必要と考え、『新聞社』について調べるバージョンを作成した。本年度は 6 年を担当することになったが、この指導事例に基づき、授業を展開したいと思っている。

6 年の社会科の発展教材の中に「歴史新聞を作ろう」というのがある。子どもたち新聞の一面記事を参考に示したところ、生き生きとした紙面を作ってくれた。工夫次第で新聞はいろいろな教材になる。まだ未熟な実践だが、今後も新聞を教材として生かす授業に取り組みたい。

高校生の誤認逮捕…なぜ？

同世代の事例に関心高く

静内農業高校では、現代社会の授業で、痴漢容疑で誤認逮捕された高校生の新聞記事などをテキストに使い、憲法で保障されている「人身の自由」と「裁判員制度」について考えさせている。高校生や

静内農業高

社会的問題になった記事とあって生徒たちの関心は高く、グループごとのブレインストーミングも熱心で、理解が早い。活発な学習内容をレポートする。

(北海道新聞NIE推進センター委員・小田原賢二)



工藤教諭のアドバイスを受け意見を出し合う生徒たち

人権と裁判員制度絡め

授業は3月14日。食品科学科2年のクラス(生徒39人)。基本的人権に関するまとめ学習で、2時間通しだった。担当の工藤淳教諭は、各単元で新聞記事を活用しており、この日は「基本的人権の保障」の中で重要な「人身の自由」について理解を深めるため、4種類の切り抜き記事を生徒たちに手渡した。授業ではまず、痴漢容

のような誤認逮捕が起きるのか」をテーマに8グループに分かれてブレインストーミング。

原因について、生徒たちから「警察の捜査の手抜き」「強要による自白」といった発言があった。工藤教諭が「君たちがそんな目にあつたらどうするか」と問うと、すかさず一人が「当番弁護士を呼んでくださいと要求します」と声を上げる。

同教諭が「誤認逮捕が起きないためにどうすべきか」と次々に質問をぶつける。人気テレビドラマ「HERO」のワンシーンを例に挙げ、検事役になりきって取り調べ状況

今年も全国一目指そう

NIE活動を広げるため、北海道NIE推進協議会は今年も小・中・高校生を対象とする「第4回わがまち新聞コンクール」を実施する。4月16日の加盟新聞社代表者会議で、作品の応募締め切りは9月19日(金)と決まった。入賞作品は全国審査に出品されるが、本道の作品が3年連続で全国一の最優秀賞に輝いており、今年も水準の高い作品の応募が期待される。

「わがまち新聞」募集

9月19日締め切り

ソコンでも可。応募締め切りは9月19日(金)。コンクールはNIE週間(11月3～9日)の関連行事。協議会主催の「北海道審査」と日本新聞教育文化財団主催の「全国審査」に分かれ、道内審査の入賞作品が全国

審査に出品される。北海道審査は25日に実施、10月上旬に発表される。全国審査は10月中旬に行われ、11月初旬発表。昨年は70点の応募があり、道内では最優秀賞1校、優秀賞5校、特別賞1校、団体賞2校が選ばれた。全国では過去3回とも道内の作品が全国一の最優秀賞に選ばれている。

新会長に舟越校長(鹿追)

十勝新聞 教研総会 活動方針など決める

北海道十勝新聞教育研究会の本年度総会は4月23日夜、帯広市東小に約20人が参加して開かれた。選んだ。

活動方針としては、①第19回北海道十勝新聞教育研究大会更別大会を更別村中央で開く(期日未定)②第13回全十勝小中学生新聞スクラップコンクールを主催する(1月)③第7回NIEセミナーを北海道NIE推進協議会と共催する(2月14日)④来年度の研究会

創立20周年にちなみ記念事業の準備を進めるなどを決めた。副会長以下の主な新役員は次の通り。
▽副会長 陰元正二(上士幌町上音更小) 竹内光男(帯広市東小) 堀光生(鹿追町鹿追中) 竹中久美子(帯広市北栄小) 野上泰宏(音更町緑南中)

中村宏喜(清水町御影中) 事務局 森田昌宏(帯広市清川中) 事務局次長 渡邊毅広(帯広市開西小) 上田美紀(帯広市南町中) 会計 森谷栄介(帯広市啓西小) 会計次長 橋本隆史(帯広市緑丘小)

(北海道十勝新聞教育研究会事務局長・森田昌宏)

沖縄県の地元紙、琉球新報社には、NIE授業の教材にしたいと全国から新聞の送付依頼が多い。また、記者の出前デスクが、「EIN(新聞に教育を)」運動に効果をあげており、学校との共同事業も高まっている。こうした取り組みを同社から寄稿してもらった。

EINにも効果

「新聞に教育を」

全国から依頼増加

沖縄県は、日本の最南端の県、国内唯一の亜熱帯性気候、琉球王朝など独自の歴史と文化、太平洋戦争の激戦地、米軍支配と米軍基地の島、という特異性などもあり、日本全国からNIE授業の「比較学習」の対象として注目されています。

例えば、「地理学習や平和学習の教材」に使用したいと、全国の小

教材に使える紙面作り

琉球新報社

修学旅行で来県する小中学校からの平和講座や新聞講座の要請も増え、事務局体制の強化が課題になっています。

即座に印刷、配布

NIE実践校で、最近人気を集めているのが、出前デスクの指導で作る「学校新聞」や「クラス新聞」です。新聞授業で作った紙面を、実践校に送り込んだ移動速報車(りゅうちゃん号)で即座に印刷し、授業で配布して

いま
沖縄で

授業通して記者育てる

ら寄せられる新聞や記事に対する素朴な疑問は、作り手の側の慢心



速報車「りゅうちゃん号」で印刷された新聞を前に、歓声を上げる子どもたち

お知らせ

NIE全国大会
今夏高知で開催

日本新聞教育文化財団と高知県教育委員会主催、高知県NIE推進協議会と高知新聞社主管の第13回NIE全国大会が7月31、8月1の両日、高知県民文化ホールなどで開かれる。

「子どもが拓くNIE」地域に根ざす学び求めて」を大会スローガンに、全国各地からNIE実践

編集後記

○…NIE実践校の静内農高の取材では、工藤教諭の授業が、多くの教師が協力し合い、それぞれ先生たちから授業内容を聞き、なかなか興味深く思った。

○…国語の大村勲教諭は、新聞の求人欄を教材にし、生徒たちに同欄の情報を読み取らせている。進路意識を高めつつある生徒たちの反応がよく、教材としては成果があったという。

○…家庭科の田嶋麻衣・実習助手は、調理実習室に朝食をテーマにした記事を集めて掲示したところ、生徒たちの食への関心が高まり、食の大切さを学ぶきっかけになった。

○…大村教諭によると、求人欄の読み取りは、PISA型読解力の定義にある「社会に参加するためにテキストを理解、利用し、熟考する能力」を養うそう。新聞記事は、工夫次第で素晴らしい教材になると思う。(小)

教諭のほか教育、報道関係者らが参加する。31日は、午後1時開会式のあと、作家の山本一力氏が「生きる力を新聞で」と題して記念講演、続いて

「新聞活用を通して育てる社会力」をテーマにパネルディスカッションがある。

1日午前は会場を高知新阪急ホテルに移し、小中学校ごとに分科会が行われる。特別分科会として、小学校長2人による管理職の実験授業、水越伸・東大准教授によるメディアリテラシーの講演と意見交換もある。

参加・詳細の問い合わせは、高知新聞社NIE全国大会委員会事務局 ☎088・8225・1378へ。

協議会と研究会 6月14日に総会

北海道NIE推進協議会(会長 山田家正・小樽商大名誉教授)の本年度総会が6月14日午後1時半から北海道新聞社7階特別会議室で開かれる。終了後、教員組織の北海道NIE研究会(会長 日下部憲一・札幌宮の森中学校長)の同総会も同会場で開催される。協議会総会では、08年度の

財団HPを刷新

日本新聞教育文化財団のNIEホームページが4月から全面的にリニューアルし、アドレスも「http://nie.jp」に変わった。今夏からNIE実践校の実践報告を掲載するのに合わせて刷新で、情報が豊富で、読みやすくなった。

「ほっかいどうNIE通信」は、北海道新聞ホームページ「NIE」(www.doshin-nie.com/)で、バックナンバーからご覧になれます。